

3 Scope

3-1 Scope

本規格書は、一患者の診療情報を、異施設異システム間で交換する際の電子文書書式およびデータ表現形式の仕様を定める。

本規格書は、一患者の診療履歴の一部または全部を記述または参照するための電子文書書式およびデータ表現形式の仕様を定める。

本規格書は、情報交換のための媒体等については規定しない。

現時点では媒体はフロッピーディスク (FD) , 光磁気ディスク (MO) , CD-ROM, CD-R, CD-RW のいずれかを用いることが推奨される。

FD, MO では PC File System 形式, また CD-ROM, CD-R, CD-RW では ISO 9660 がそれぞれ推奨される。

圧縮形式は TAR 形式または ZIP 形式が推奨される。

本規格書は、情報交換のための伝送方法については規定しない。

伝送の際には必要な認証機構ならびに暗号化等による秘匿管理機構を併用すること。加えて CEN DD ENV 13606-3:2000 に準拠することが望ましい。

なおセキュリティ管理については、BS7799 や ISO15000 シリーズに準拠した管理評価システムが規定され、かつ運用されていることが望ましい。

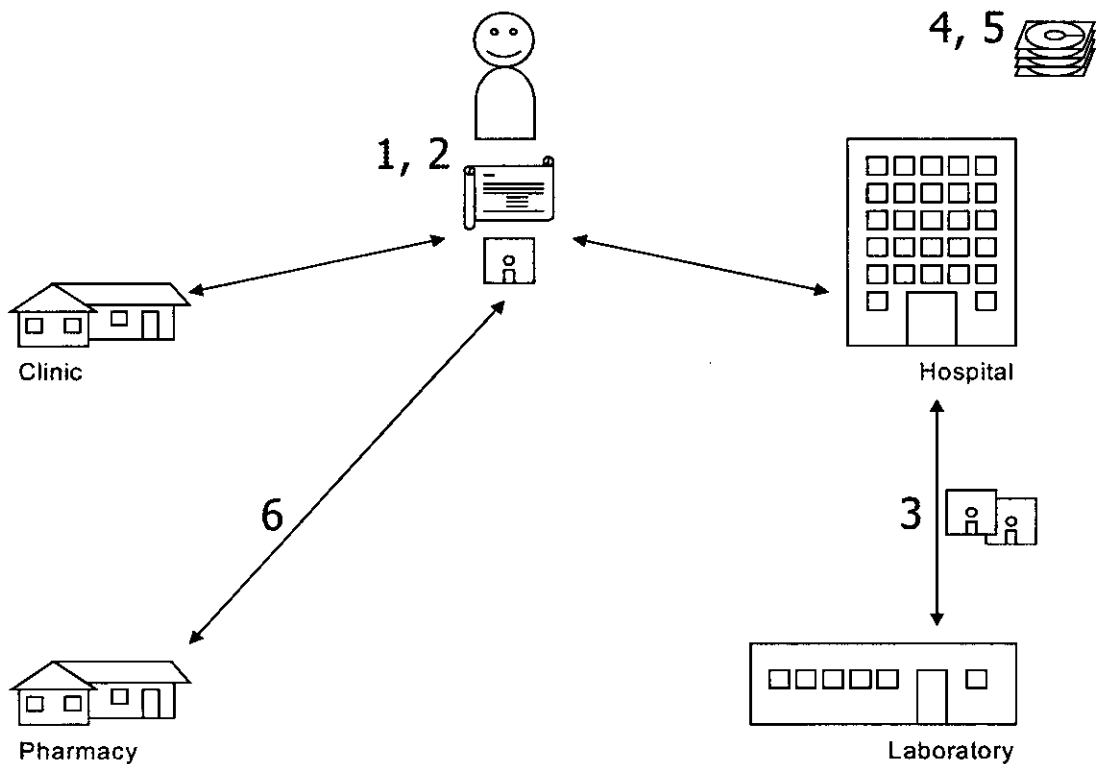
本規格書は、その適用対象地域として日本国を想定している。

現時点では日本国においては患者紹介状を電子媒体で授受すること・あるいは・電子的に伝送することは、法制上、明示的に許可されているわけではないことに留意すること。

3-2 Use case

MERIT-9 は、以下に示した活用形態を想定して策定された・または策定中である：

1. 診療施設間で患者を紹介する際に紹介状および詳細な診療情報を授受する。
2. 患者の希望に応じて診療情報を提供する。
3. 診療施設と検査請負業者との間で複数患者の検査依頼および検査結果を一括して授受する。
4. 自施設内で複数の患者の診療情報を蓄積する。
5. 多施設から複数の患者の診療情報を収集し、症例データベースを構築する。
6. 診療施設と調剤薬局との間で必要な診療情報等を授受する。



本規格書は 1 の活用形態に対応するものである。
ただし 2 の活用形態に応用することも可能である。

2 の活用形態に応用する場合にはデータの選別は両側のアプリケーションに依存することになる。

4 References

4-1 Normative

- ISO/IEC 646 : 1991 Information technology -- ISO 7-bit coded character set for information interchange
- ISO/IEC 2022:1994 Information technology -- Character code structure and extension techniques
- JIS X 0201:1976 Code for Information Interchange
- JIS X 0202:1991 (same as ISO/IEC 2022:1994)
- JIS X 0208:1997 Code of the Japanese graphic character set for information interchange
- JIS X 0212:1990 Code of the supplementary Japanese graphic character set for information interchange
- JIS X 0213:2000 7-bit and 8-bit double byte coded extended KANJI sets for information interchange
- ★ UTF-8 ★
- JIS TR X 0008:1999 W3C Extensible Markup Language (XML) 1.0, Recommendation
- JIS TR X 0023:1999 W3C Name Spaces in XML, Recommendation
- W3C XML Schema
- JIS TR X 0029:2000 Regular Language description for XML (RELAX) Core
- HL7, Inc. HL7 version 2.3
- NEMA DICOM version 3.0
- JAHTS 臨床検査データ交換規約 第2版
The Agreement on Clinical Laboratory Data Communication Ver. 2.0
- JAHTS 処方データ交換規約 version 1.0
★英語は？★
- CEN DD ENV 13606-3:2000 Health Informatics -- Electronic healthcare record communication - Part3: Distribution rules
- ★ Floppy disk ★
- ISO 9660:1988 Information processing -- Volume and file structure of CD-ROM for information interchange
- JJ1017 Guideline version 1.0
★必要か不要か？ 日本語および英語は？★

4-2 Informative

- MERIT-9 画像関連フォーマット version 1.5 Part 1 ★英語は？★
- MERIT-9 画像関連フォーマット version 1.5 Part 2 ★英語は？★

JSLM 日本臨床検査医学会 臨床検査項目分類コード第10回改訂

Japanese Laboratory Code version 10 (JLAC10)

MEDIS-DC J-MIX

電子保存された診療録情報の交換のためのデータ項目セット

The Japanese Set of Identifies for Medical Record Information Exchange

MEDIS-DC HOT

標準医薬品マスター 医薬品基準番号 ★英語名は？★

5 Abbreviations and Symbols

W3C

World Wide Web consortium. <http://www.w3c.org/>

HL7

合衆国 Health Level Seven Inc. によって作成された患者基本情報, オーダ依頼情報, 結果情報等医療データを扱うための規格策定団体, またはその規格. <http://www.hl7.org/>

DICOM

合衆国 National Electrical Manufactures Assoc. の DICOM (Digital Imaging and Communications in Medicine) 委員会によって策定された医療デジタル画像の伝送・保存・配布等のための規格.
<http://medical.nema.org/>

JJ1017

JAHIS と JIRA との合同委員会 : Joint committee of JAHIS and JIRA, またはその指針または規格 : DICOM modality と HIS/RIS/PACS との間のデータ交換仕様.

JAHIS

保健医療福祉情報システム工業会 : Japanese Association of Healthcare Information Systems Industry. <http://www.jahis.jp/>

JIRA

社団法人 日本画像医療システム工業会 : Japan Industries Association of Radiological Systems.
<http://www.jira-net.or.jp/>

JSLM

日本臨床検査医学会 (旧 日本臨床病理学会) : Japanese Society of Laboratory Medicine.
<http://www.jscp.org/>

MEDIS-DC

財団法人 医療情報システム開発センター : The Medical Information System Development Center.
<http://www.medis.or.jp/s>

6 Terms and Definitions

XML document (XML 文書)

XML, DTD または XML Schema による定義に則って記述された XML 形式のタグ付きテキスト文書。

External instance (外部インスタンス)

XML 文書内の一定のエレメントによって参照される、当該 XML 文書ではない文書。外部インスタンスは、存在しない場合と複数個存在する場合とがありうる。

診療情報交換情報

異施設間で診療情報を授受する際に明記されるべき、発行元の施設同定情報および発行者同定情報、さらに送付先の施設同定情報などが含まれることがある。

患者基本情報

患者を同定するためのデータ・エンティティ。生物学的および社会的なデータ項目のほか識別子が加えられることがある。ただし個人情報を保護する場合には、代替識別子もしくは de-identification される場合がある。

MERIT-9 document (MERIT-9 文書)

MERIT-9 の XML Schema に則って記述され、診療情報交換情報および/または患者基本情報を格納した XML 文書。

MERIT-9 document set (MERIT-9 文書群)

一つの MERIT-9 文書・および当該 MERIT-9 文書から参照されている 0 個以上の外部インスタンスの総体。

7 NOTATION

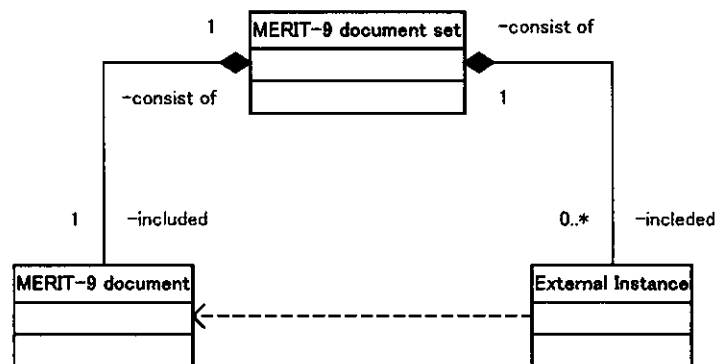
エレメント名を記載する際に * が前置されている場合は、* に相当する部分に J-MIX の分類名が添加されることを意味している。

8 Overview

8-1 MERIT-9 document set

MERIT-9 文書群は、MERIT-9 文書に加えて、0 個以上の外部インスタンスから構成される。
MERIT-9 文書群は、MERIT-9 文書を頂点とするハイラルキー構造を為している。

外部インスタンスのみの MERIT-9 文書群は存在しない。



相似性 (Analogy)

診療情報提供書 (6号書式)	⇔	MERIT-9 紹介状文書 (XML 文書)
同封または貼付		外部インスタンスの参照
検査結果伝票	⇔	検査データ詳細 (HL7 文書)
処方箋		処方データ詳細 (HL7 文書)
放射線フィルム		画像データ (DICOM 文書等)

本規格書 分冊 1 患者紹介状 (一患者の診療履歴の授受) に規定する、紹介状 MERIT-9 文書では、一つの MERIT-9 文書にはただ一人の患者の診療情報等が格納されている。

したがって関係する全ての外部インスタンスは、参照元である MERIT-9 文書内で指定されている。ただ一人の患者の診療情報が格納されていることになる。

8-2 MERIT-9 document

MERIT-9 文書は、MERIT-9 の XML Schema に則って記述され、診療情報交換情報および/または患者基本情報を格納している XML 文書である。

この文書はストリーム (ファイルまたはメッセージ) として処理されることが想定されている。

本規格のうち本書 (分冊 1) で規定する『MERIT-9 紹介状文書』は、一患者の診療履歴を格納して

いる。

MERIT-9 紹介状文書のエレメントとその名称は J-MIX に準拠する。

診療情報に関する詳細データの記述には二つの解決手法が用意されている：

1. MERIT-9 紹介状文書内の然るべきエレメントに記述する
2. MERIT-9 文書群内の外部インスタンス

8-3 External instance of MERIT-9 document set

MERIT-9 文書群内の外部インスタンスとしては、XML 文書、HL7 文書 (HL7 メッセージ・セグメント・ファイル)、DICOM 文書 (DICOM 形式文書) および JPEG 等の画像文書が想定されている。

XML 文書、HL7 形式文書、DICOM 形式文書はストリーム (ファイルまたはメッセージ) として処理されることが想定されている。

HL7 形式の外部インスタンスは、HL7 version 2.3 の 1.6.4 にしたがって、★バッチファイル形式★ でなければならない。

JAHIS 臨床検査データ交換規約 version 2.0

JAHIS 処方データ交換規約 version 1.0

DICOM 形式の外部インスタンスは、DICOM version 3.0 の Part 10 の規定にしたがって、メタヘッダを格納していなければならない。

MERIT-9 画像関連フォーマット version 1.5 Part 1 & Part 2 ★ ★★ ★

8-4 Creation of MERIT-9 document set

8-4-1 Character code set

文字セットは、1 バイト系では ISO 646 または JIS X 0201 (ただし半角カナを除く) とすること。2 バイト系では JIS X 0208, JIS X 0212, JIS X 0213 とし、ISO 2022 (JIS X 0202) 手順により、基礎となってい1 バイト系文字セットから呼び出されること。

★ UNICODE (UTF-8) の許容 ★

外部インスタンスで用いる文字セットのレパトリは、当該文書の内部で宣言されること。

8-4-2 Path for external instance

MERIT-9 文書から外部インスタンスを参照する際には、MERIT-9 文書の存在するディレクトリをベース・ディレクトリとした相対パスによって指定すること。

MERIT-9 文書は、当該 MERIT-9 文書群が格納されているディレクトリのうち最上位ディレクトリに配置されること。

パスの書式は XML Schema の規定に従って URL となる。
 相対パスはスキーマパート (httpfile/ から始まらないようにすること。
 例: dicom/ct-1-1.dcm

外部インスタンスに用いられるファイル名およびディレクトリ名は、全て 1 バイト系文字セットの要素から構成され、かつ、英大文字、数字、_ (下線) のみであること。

ファイル名は、8 文字までの文字列+「.」(ピリオド)+3 文字までの拡張子文字列で構成されること。拡張子を付与しない場合にはピリオドを省略すること。

ディレクトリ名は、8 文字までの文字列であること。

参照すべき外部インスタンスが情報提供元からもアクセス可能なネットワーク上のサーバに格納されている場合は、スキーマ、絶対パスを含んだ絶対 URL でもよい。ただし、XML インスタンス自体が★サーバ上に★ある場合は相対パスを用いることを推奨する。

MIME のマルチパート・メッセージとしてエンコーディングする場合にも同様に相対パスを用いるのが安全である。この場合はディレクトリ区切りとしては / を使わないことを推奨する。

二つ以上の情報源からの MERIT-9 文書群をマージする際に、ファイル名もしくは / ならびにディレクトリ名が衝突した場合には、マージする者 (操作者もしくはアプリケーション) 自身がパス名の衝突解決をすること。

★? 一つの媒体内もしくは一つの伝送単位内に、MERIT-9 文書群が複数ある場合には、MERIT-9 文書群に対するメタ情報となるディレクトリファイルが、必要となるのではないか。★?

8-5 Analysis of MERIT-9 document set

8-5-1 Category-class and category-type

MERIT-9 紹介状文書を構成するエレメントのうち、子エレメントを持つ子エレメントの幾つかは、その属性として VW (vie wer), CT (category), CL (class) ならびに CT (type) を持つことがある。

```

<xsd:element name="生体検査.実施記録" type="pr:RecordType" />
<xsd:element name="内視鏡検査.実施記録" type="pr:RecordType" />
<xsd:element name="病理検査.実施記録" type="pr:RecordType" />
<xsd:element name="細菌検査.実施記録" type="pr:RecordType" />
<xsd:element name="超音波検査.実施記録" type="pr:RecordType" />
<xsd:element name="各種検査.実施記録" type="pr:RecordType" />
<xsd:element name="調剤.実施記録" type="pr:RecordType" />

```



```
<xsd:element name="服用.実施記録" type="pr:RecordType" />
<xsd:element name="注射.実施記録" type="pr:RecordType" />
<xsd:element name="手術.実施記録" type="pr:RecordType" />
<xsd:element name="処置.実施記録" type="pr:RecordType" />
<xsd:element name="栄養指導.実施記録" type="pr:RecordType" />
<xsd:element name="服薬指導.実施記録" type="pr:RecordType" />
<xsd:element name="薬剤管理指導.実施記録" type="pr:RecordType" />
<xsd:element name="リハビリ.実施記録" type="pr:RecordType" />
```

```
<xsd:sequence>
  <xsd:element name="xxxxxx">
</xsd:sequence>
```

★ そのほか ★

8-5-2 Solution of confiction

患者識別情報ほか幾つかのデータ項目は、一つのMERIT-9紹介状文書群において、MERIT-9紹介状文書内で定義されていると同時に外部インスタンスでも定義されていることがありうる。

このようなMERIT-9紹介状文書群を解釈する場合には、当該データ項目についてはMERIT-9紹介状文書内で定義されている値を優先すること。

9 MERIT-9 Patient Referral document model

9-1 Document modeling

MERIT-9 紹介状文書群は、診療情報提供書に相当する情報を格納する。

MERIT-9 紹介状文書群は、MERIT-9 紹介状文書と、関連する外部インスタンスとから構成される。

MERIT-9 紹介状文書は、XML Schema によって定義された XML 文書である。

MERIT-9 紹介状文書の XML エレメントは、J-MIX に挙げられているデータ項目の★全て★を含む。

★ J-MIX 項目が アトリビュートして存在する場合 ★

MERIT-9 紹介状文書の XML エレメントは、該当するデータ項目が J-MIX に存在する場合には、エレメント名として J-MIX の日本語標準ラベルを採用する。このような場合は、当該エレメントと当該データ項目とは一意対応している。

MERIT-9 紹介状文書は、階層構造をもつ XML 文書である。

MERIT-9 紹介状文書の XML 階層構造の第二層には、セクション・エレメントが配置される。

セクション・エレメントは、繰り返さない（同一エレメント名は 1 回または 0 回のみ出現）。

セクション・エレメントは、CDATA を含まない。

セクション・エレメントと、J-MIX 大分類および診療情報提供書の項目との関係は下表の通り：

セクション・エレメント	J-MIX 大分類	診療情報提供書の項目
HEADER	診療情報交換情報	診療情報提供書の発行元・送付先等の情報
PATIENT-INFO	患者基本情報	患者基本情報
DISEASE-INFO	病歴要約情報	現病歴や家族歴
SUMMARY	診療要約情報	診療履歴の要約
PRESENT-INFO	診療要約情報	現在の所見や処方等の要約（医師による記述）
PATIENT-DATA	指示実施記録情報	検査結果、処方内容、画像データ等
ORDER-INFO	指示実施記録情報	★ウチの過去のオーダ？ ヨソへの未来の依頼？★

セクション・エレメントは、下位のエレメントを包括するエレメントである。

セクション・エレメントは、相当する診療情報提供書に記載されるべきデータ項目と対応する XML エレメントを、下位のエレメントとして包括する。

施設組織に関する情報、および個人に関する情報については、データベース・フィールドとの相応を実現しやすいよう XML エレメントを細分して構成した。ただし J-MIX データ項目を参考しており、両者が概ね一意対応するよう留意した。

9-2 Data types

MERIT-9 紹介状文書を構成する XML エlement およびその属性は、XML Schema Data Types の Simple Type を適用する。

MERIT-9 紹介状文書を構成する XML エlement およびその属性は、XML Schema Data Types の Simple Type から導出したデータ型を用いない。

MERIT-9 紹介状文書を構成する XML エlement のうち、J-MIX データ項目と相応するもののデータ型は、原則として J-MIX が指定するデータ型とする。

MERIT-9 紹介状文書を構成する XML エlement のうち、J-MIX データ項目と相応するもののデータ型が文法を持たない文字列型の場合、XML Schema Data Type の Simple Type に適切なデータ型が存在するならば、これを採用する。

MERIT-9 紹介状文書の XML Schema には、★ 複合データ型を採用しない。 ★

9-3 Data types supplement (informative)

★ MERIT-9 紹介状文書の XML Schema には複合データ型を採用しないものの、実際には複合データ型として運用されるべきデータ項目に相応する XML Element が個々に存在している、したがって、これらについて説明する。 ★

主な複合データ型は下記のとおりである：

1. 分類体系と分類コードと分類項目名称
2. 識別子
3. 人名
4. 住所
5. 電話番号ほかコンタクト情報

分類体系と分類コードと分類項目名称

情報交換における明示性と一意性の保障、そして信頼性を確保するために、記述対象をコードにて識別する場合は、*.名称Element、*.コード・Element、*.コード体系コード・Element の三つ組みによって記述すること。

*.コード体系コード・Element の値は J-MIX コード体系コード表 (C1000) に記載されたコードでなければならない。

私的なコード体系を用いる場合はコード体系コード・Element に L を記述し、施設固有のコード体系であることを示すこと。複数の私的コード体系を混在させる必要があり、かつそれらの識別を要する場合、*.コード体系コード・Element にはコード体系を定めた団体等を明示するとともに private 属性を付与し、これに「真」を示す真偽値を設定して、そのコード体系が私的コード体系であることを明示すること。

識別子

識別子についても、前述したコードと同様に、識別子を発行した機関を特定する情報とともに運用する必要がある。

識別子は、*.ID エlement、*.ID 発行機関.名称Element、*.ID 発行機関.コード・Element、*.ID 発行機関.コード体系コード・Elementの四つ組みによって記述すること。

人名

姓 (Family Name) と名 (Given Name) 分離できる場合には、*.姓Elementと*.名Elementに分離し、*.氏名Elementは省略してよい。

.カナ氏名Element、.カナ姓Element、*.カナ名Elementについても同様とする。

ミドルネームがある場合には名 (Given Name) の一部として扱い、名 (Given Name) の前に一つの空白を挟んで記すこと。

? これではよいのでしょうか? 順序, ミドルネーム (の長さ), Suffixとかはどうします ?

住所

郵便番号を除く全ての住所を連続して記述する *.住所Elementに加えて、*.都道府県名Elementおよび *.市区部名Elementと記述する手法とを併用することとした。これは、異システム間での住所情報格納手法の差異を吸収するためである。

よって *.住所Elementは必須であり、*.都道府県名Elementおよび *.市区部名Elementの組は必須とはしない。

電話番号ほかコンタクト情報

? 未記載 ?

国際番号

優先順位

コメント

9-4 HEADER section

HEADER セクションは、提供元 (source)、提供先 (destination) ほかの管理情報を記述するセクションである。

情報提供. 目的区分, 情報提供. 目的

J-MIX 情報提供目的区分表 (T0029) に該当項目がある場合には、情報提供. 目的区分エレメントにその区分値を記述し、情報提供. 目的エレメントにはその表の内容フィールドの文字列を記述する。表中に該当項目が無い場合は、情報提供. 目的区分エレメントは空エレメントとし、情報提供. 目的エレメントには自由文として記述する。

提供情報説明

この診療情報提供データの実際の目的などについて、文章による説明を記載する。

交換情報. 作成日時, 交換情報. 基準日時, 交換情報. 交換日時, 交換情報. 記録日時

? 要解説 ?

9-5 PATIENT-INFO section

PATIENT-INFO セクションは、医師等が自由記述した患者状態情報を格納するセクションである。

患者. 生年月日, 患者. 年齢

患者. 年齢のデータ型としては XML Schema Data Type の duration 型を用いる。

患者関係者

患者の関係者を複数列挙するためのエレメントである。

9-6 DISEASE-INFO section

DISEASE-INFO セクションは、現疾患とその病歴、ならびに既往歴を記述するセクションである。

現疾患

複数の疾患を持っている場合には、このエレメントでそれらを列挙する。

9-7 SUMMARY section

9-8 PRESENT-INFO section

9-9 PATIENT-DATA section

PATIENT-DATA セクションは、種々の診療行為、もしくは検査等の診療行為によって得られた結果情報を記述するセクションである。MREF エLEMENTの ref 属性によって外部インスタンスを参照するのか、テキストエンコードして INLINE エLEMENTとして埋め込んでいるのかを指定判別する。

MREF: entity 属性

属性値の範囲は、original, report である。

original は、装置や部門システムが結果出力した生データであることを示している。

report は、レポートすなわち担当者の解釈が加わっていることを示している。

MREF: content-type 属性

属性値の範囲は、原則として IANA に登録された MIME の Content Type である。

IANA に登録されていないにも関わらず許容される値は以下の表に示すもののみである。なおこの場合、通称される名称に x- (experimental-) を前置している。

content-type	意味
application/x-medis_is&c_1.0_type1	MEDIS IS&C 規格
application/x-medis_is&c_1.0_type2	MEDIS IS&C 規格
application/x-dicom	DICOM (非画像)
image/x-dicom	DICOM (画像)
application/x-hl7-2.3_hl7ver-2.3	HL7 version 2.3
application/x-hl7-2.4_hl7ver-2.4	HL7 version 2.4

MREF: ref 属性

参照する外部エンティティへの URL を記述する。

この属性が省略された場合には、MREF エLEMENTの子ELEMENTである INLINE エLEMENTに base64 エンコーディングしたデータが格納される。

JPEG ファイルや HTML ファイルなど、本規格書が normative reference としていない外部エンティティを参照する場合は、MREF エLEMENTの子ELEMENTにおいて、外部エンティティが格納することができない詳細な実施情報等を補足しなければならない (4-1, 7-3を参照のこと)。

9-10 ORDER-INFO section

1 0 Conformance Criteria

To do: ★ ★★ ★ ★

Critical values, critical subscription もしくは critical cases の洗い出し.
Breakwater の設置.

サポート依頼 ★ ★★ ★ ★

Annex の後半では JAHIS 規格の抜粋というか要約 (の図) を掲載しつつ解説して、アウトラインを感覚的に掴んでもらうような記述が良いのではないかと考えています.

たとえば高坂さんの下記の図のような感じで、サポートをお願いしたいです.

2. メッセージとトリガーイベント

時刻	メッセージ	トリガーイベント	状態
時刻1	メッセージ1	トリガーイベント1	状態1
時刻2	メッセージ2	トリガーイベント2	状態2
時刻3	メッセージ3	トリガーイベント3	状態3
時刻4	メッセージ4	トリガーイベント4	状態4
時刻5	メッセージ5	トリガーイベント5	状態5
時刻6	メッセージ6	トリガーイベント6	状態6
時刻7	メッセージ7	トリガーイベント7	状態7
時刻8	メッセージ8	トリガーイベント8	状態8
時刻9	メッセージ9	トリガーイベント9	状態9
時刻10	メッセージ10	トリガーイベント10	状態10

© 2001 by National Institute of Software and Information Science

1 0 Annex

1 0-1 Sample (Informative)

1 0-2 XML Schema (Normative)

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" ?>
```

```
= <xsd:schema xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
  xmlns:pr="http://merit-9.mi.hama-med.ac.jp/XMLSchemas/PATIENT-
  REFERRAL/20010914_FLAT" xsd:targetNamespace="http://merit-
  9.mi.hama-med.ac.jp/XMLSchemas/PATIENT-
  REFERRAL/20010914_FLAT">
= <xsd:element name="PATIENT-REFERRAL">
= <xsd:complexType>
= <xsd:sequence>
= <xsd:sequence>
  <xsd:element ref="pr:HEADER" minOccurs="1"
    maxOccurs="1" />
  <xsd:element ref="pr:PATIENT-INFO" minOccurs="1"
    maxOccurs="1" />
</xsd:sequence>
= <xsd:all>
  <xsd:element ref="pr:DISEASE-INFO" minOccurs="0"
    maxOccurs="1" />
  <xsd:element ref="pr:SUMMARY" minOccurs="0"
    maxOccurs="1" />
  <xsd:element ref="pr:PRESENT-INFO" minOccurs="0"
    maxOccurs="1" />
  <xsd:element ref="pr:PATIENT-DATA" minOccurs="0"
    maxOccurs="1" />
  <xsd:element ref="pr:ORDER-INFO" minOccurs="0"
    maxOccurs="1" />
</xsd:all>
</xsd:sequence>
</xsd:complexType>
</xsd:element>
= <xsd:element name="HEADER">
= <xsd:complexType>
= <xsd:all>
  <xsd:element name="情報提供.管理 ID" type="xsd:string"
    minOccurs="0" maxOccurs="1" />
  <xsd:element name="情報提供.発行日" type="xsd:date"
    minOccurs="0" maxOccurs="1" />
  <xsd:element name="情報提供.目的区分" type="xsd:string"
```

```
minOccurs="1" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供.目的" type="xsd:string"
  minOccurs="1" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供.保険区分" type="xsd:string"
  minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供元.医療機関.名称"
  type="xsd:string" minOccurs="1" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供元.医療機関.コード"
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供元.医療機関.コード体系コード"
  type="pr:CodingSystemCodeType" minOccurs="0"
  maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供元.医療機関.住所"
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供元.医療機関.住所.国コード"
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供元.医療機関.住所.都道府県名"
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供元.医療機関.住所.市区部名"
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供元.医療機関.郵便番号"
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供元.診療科.名称"
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供元.診療科.コード"
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供元.診療科.コード体系コード"
  type="pr:CodingSystemCodeType" minOccurs="0"
  maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供元.医師.ID" type="xsd:string"
  minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供元.医師.ID 発行機関.名称"
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供元.医師.ID 発行機関.コード"
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供元.医師.ID 発行機関.コード体系コー
  ド" type="pr:CodingSystemCodeType" minOccurs="0"
  maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供元.医師.氏名" type="xsd:string"
  minOccurs="0" maxOccurs="1" />
```

```
<xsd:element name="情報提供元.医師.姓" type="xsd:string"
  minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供元.医師.名" type="xsd:string"
  minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name=" 情報提供元.医師.カナ氏名"
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name=" 情報提供元.医師.カナ姓"
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name=" 情報提供元.医師.カナ名"
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供元.電話番号." type="xsd:string"
  minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供元.FAX 番号." type="xsd:string"
  minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name=" 情報提供元.電子メールアドレス."
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供元.連絡備考" type="xsd:string"
  minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供元.署名情報" type="xsd:string"
  minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name=" 情報提供先.医療機関.名称"
  type="xsd:string" minOccurs="1" maxOccurs="1" />
<xsd:element name=" 情報提供先.医療機関.コード"
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供先.医療機関.コード体系コード"
  type="pr:CodingSystemCodeType" minOccurs="0"
  maxOccurs="1" />
<xsd:element name=" 情報提供先.医療機関.住所"
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name=" 情報提供先.医療機関.住所.国コード"
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name=" 情報提供先.医療機関.住所.都道府県名"
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name=" 情報提供先.医療機関.住所.市区部名"
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name=" 情報提供先.医療機関.郵便番号"
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name=" 情報提供先.診療科.名称"
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name=" 情報提供先.診療科.コード"
```

```

    type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供先.診療科.コード体系コード"
  type="pr:CodingSystemCodeType" minOccurs="0"
  maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供先.医師.ID" type="xsd:string"
  minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供先.医師.ID 発行機関.名称"
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供先.医師.ID 発行機関.コード"
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供先.医師.ID 発行機関.コード体系コード"
  type="pr:CodingSystemCodeType" minOccurs="0"
  maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供先.医師.氏名" type="xsd:string"
  minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供先.医師.姓" type="xsd:string"
  minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供先.医師.名" type="xsd:string"
  minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供先.医師.カナ氏名"
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供先.医師.カナ姓"
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供先.医師.カナ名"
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供先.電話番号." type="xsd:string"
  minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供先.FAX 番号." type="xsd:string"
  minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供先.電子メールアドレス."
  type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="情報提供先.連絡備考" type="xsd:string"
  minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="提供情報説明" type="xsd:string"
  minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="交換情報.作成日時" type="xsd:dateTime"
  minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="交換情報.基準日時" type="xsd:dateTime"
  minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="交換情報.交換日時" type="xsd:dateTime"

```